



長田中 学校だより

元気発信感動ながた



第110号 令和4年12月12日発行
金沢市立長田中学校

Email nagata-j@kanazawa-city.ed.jp

学校ホームページURL

https://www14.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1720003

*学校便り作成にあたり、生徒の文章や写真を使用する場合があります。長田中学校個人情報取扱規程を遵守しておりますが、お気付きの点がありましたら学校までご連絡ください。

1年生の朝学習は「読み聞かせ」

～「情緒的読解力」と「論理的読解力」について～

今日の1年生の朝学習は、図書ボランティアによる「読み聞かせ」です。物語を通して、「思いやり」「優しさ」「感謝」「命の大切さ」などを感じ、もうすぐ大人になる中学生の「心」を育てることをねらいとしています。生徒のみなさんが「読書」に興味を持つきっかけになってほしいという思いもあります。最近の図書館の貸し出し状況は、全体的に少なくいようで、忙しい生徒のみなさんの限られた時間の中で、「読書」の優先順位が低くなっているのではないのでしょうか。

生徒のみなさんに「読解力」の話をします。「読解力」には次の2つがあります。

① 連続型テキストを読むための読解力

- ・小説や物語を読むことで身に付く、同時に感性を豊かにしてくれる

② 非連続型テキストを読むための読解力（総合読解力）

- ・説明文を読むときに必要になる
- ・文章だけでなく、写真や図、表、グラフを総合して読み解く必要がある



テレビ等でおなじみのジャーナリスト 池上 彰氏は、自身の著書「社会に出るあなたに伝えたい『なぜ読解力が必要なのか?』」（講談社）の中で、①を「情緒的読解力」②を「論理的読解力」として「読解力」を分類しています。池上氏はこの本の中で「教育現場において「論理的読解力」がより重視される傾向があるが、「情緒的読解力」も「読解力」としてとても大事である。」と言っています。また、「小説や詩、戯曲などの文学作品、フィクションを読んで、感動したり泣いたり、笑ったり、なんとも言えない思いに浸ったりする力は、人間的に成長する上では絶対に必要です。…（中略）…「情緒的読解力」とは、自分とはまったく違う境遇の人、考えが異なる人、自分がしたことのない経験をしている人に対しても共感できる力です。」と言っています。

「共感できる力」があれば、人間関係はもっと円滑になり、学校がもっともっと楽しくなります。人と関わることが好きになります。学校で起きているいろいろな「いさかい」もなくなります。生徒のみなさん、そんな意味でも「読み聞かせ」の取組をきっかけにして、改めて「読書」の時間を設けてみませんか。図書ボランティアのみなさん、ありがとうございます。



【1年生「読み聞かせ」の取組の様子】

もちろん、学力向上のためには「論理的読解力」が必要不可欠です。「論理的読解力」を高めるためには、

- ・キーワード(語句や単語)を拾う読みから、一文一文を理解しながら丁寧に読むことを心掛ける。
- ・「早くあやふやな読み」から、「ゆっくりでも正確な読み」を目指す。
- どちらも最初は時間がかかりますが、読む早さは繰り返すことで必ずアップします。
- ・多くの文章に触れることで、語彙力を増やす。

生徒のみなさん、授業や家庭学習で「教科書」を読む際には、以上のことを意識しながら読んでほしいと思います。公立高校の入試では「教科書」で習う以上のことは出題されません。中学校を卒業するまでに、中学校の教科書をしっかり読めるようになることはとても重要です。